

けいこう 挂甲をつけた男子埴輪

挂甲とは

古代の甲の一種。鉄や革などでつくられた小札（こざね）を革紐や組糸で綴合せ，肩からうちかけて着用し防御するもの。

武人埴輪の特徴

冑、挂甲で身を固めている。左手は頭椎大刀（かぶつちたち）の柄を握り、今にも抜かんとする威圧的な仕草を表している。

尾崎先生の調査により発見



群馬県立歴史博物館提供

高塚古墳

昭和34・35年に発掘調査が行われた、6世紀中頃の前方後円墳である。

昭和34年8月、群馬県史跡に指定

墳丘からは…

武人埴輪 や弓形埴輪をはじめ、数多くの埴輪が出土

高塚古墳の特徴

前方部幅47.4 m
前方部高さ4 m
全長約60m

高さ103cm

高塚古墳は群馬県林業試験場内
（〒370-3503
群馬県北群馬郡榛東村大字新井2935）
にあるため、平日のみ見学可